

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第 I 項 表象文化 学部 日本語日本文 学科

出身高校名 清心女子高等学校

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は中学生の頃から競技かるたをしていて、オープンキャンパスで同志社女子大学を訪れた際に百人一首の研究で有名な吉海教授がいらっしゃるということを知り、同志社女子大学を志望しました。また、大学の雰囲気や建物が素敵であることや同志社女子大学に通っている姿を想像することができたということも志望した理由の一つです。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

自分の思いや強みを直接伝えることができるからです。私は競技かるたで全国大会に出場したり、宗教活動の一環として中学生の頃から支援してきたフィリピンの子どもたちの元を訪れた経験があったので、そこで学んだことを直接伝えることができるチャンス逃すわけにはいかないと思い、AO方式入学者選抜を受けることに決めました。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

部活動で約2年間部長を務め県代表として中国大会や総合文化祭に出場したことや、中学生の頃からチャイルド・ファント・ジャパンという活動を学校で行っていたこと、そしてその活動についての理解を深めるためにフィリピンを訪れたこと、またこれらの活動を通じて何を学び、成長することができたのかをアピールしました。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

テーマに対して的確な内容にするために沢山の本を読み、先生方や家族と話し合いを重ねました。ある程度書き上がったからは宗教の先生にも確認していただき、より確かな内容になるよう推敲し、丁寧な字で仕上げることが心をかけました。

〔面接〕

実際の面接で前もって準備しておいた文を暗唱しているようになるのを避けるため、模範解答のような文は準備しませんでした。ですが、出願書類は暗唱できるほど何度も読み返しました。また、大学のパンフレットやホームページも隅々まで目を通し、アドミッションポリシーなどはしっかりと頭に入れて面接に臨みました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私は8月まで大会があり、受験勉強と部活動の両立に苦勞しました。けれど、AO方式入学者選抜は高校生活を精一杯頑張っている生徒を応援してくれる入試制度だと思います。どうしても同志社女子大学に入学したいという強い気持ちがあれば必ず合格できると信じて頑張ってください!!